

久留米市社会福祉協議会
平成31年度事業計画

『くまろあふれる
支え合いのまちくるめ』
の実現のために

次の重点取り組みに基づき、安心して暮らし続けることができる地域社会づくりを関係機関等とともに進めます。

重点取り組みの内容

地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

- 地域福祉を総合的に推進するため市と協働して、第6次久留米市地域福祉活動計画を一体的に策定します。
- 各小学校区に配置した生活支援コーディネーターが支え合い推進会議の設立と運営を支援します。

見守りや支援のネットワークの拡充

- 誰もが集える共生型サロンの増設と充実を図ります。
- 見守り訪問活動等の地域福祉活動を担う人材発掘や育成に取り組みます。

福祉教育の充実

- 福祉教育の推進が図れるようにセミナーなど学習機会の提供に努めます。

ボランティア活動の活性化

- ボランティア相談に対し、きめ細やかな支援ができるように、ボランティアの育成と情報収集及び発信に努めます。また、ボランティアセンター運営委員会を開催し、各委員の意見をもとにニーズに即したセンター運営に努めます。

災害対応

- 災害発生時、災害ボランティアセンターを設置した場合、関係機関等と連携し被災者支援を行います。また、円滑な運営ができるよう、設置運営訓練を実施します。

生活支援・相談機能の充実

- 複合化・複雑化した課題に的確に対応するため、包括的・総合的な相談体制づくりに取り組みます。
- 相談者個々の実態に応じた相談・生活支援を実施し、自立に向けた総合的支援に努めます。

生活困窮者への支援

- 公益的な取り組みとして、市内の社会福祉法人と協力しそれぞれの専門性や特性を活かして生活困窮

者に対する相談支援活動を行う、ライフレスキュー事業に取り組みます。

成年後見事業の適正な実施

- 成年後見制度の一層の普及・啓発に努め、制度利用を促進します。また、判断能力が十分でなくなった人の生活や権利を守り、安心して暮らせるように支援する法人後見として適正な実施に努めます。

経営計画の策定

- 中期的な視点から、課題解決のために、本会が取り組むべき事業とその実施に必要な体制についての計画を策定します。

人材の育成

- 計画的な研修の受講。そこで習得した知識等の組織内での共有化を推進します。

広報機能の強化

- SNSだけでなく、報道機関等に積極的に情報を発信します。また、広報紙「くるめ福祉」の充実した紙面づくりに努めます。

平成31年度資金収支予算

